

(22) 施設安全・環境委員会**① 設置の趣旨（目的）及び組織****ア 組織設置の趣旨（目的）**

施設安全・環境委員会は、施設の安全及び環境の保全（廃棄物の管理を含む。）、施設の有効活用の促進及び施設整備（屋外環境整備を含む）等について検討することを目的に、平成19年度に設置された。

イ 組織の構成及び構成員等

施設安全・環境委員会は、学長が指名した副学長、各学系から選出された教授又は准教授（講師及び助教を含む。）各2人、学長が指名した附属学校園長1人、施設課長、その他学長が指名した者若干人をもって組織する。

② 運営・活動の状況**ア 委員会等の開催状況**

平成30年度は、委員会を5回開催した。

イ 審議された主な事項**i) 構内交通安全指導**

平成30年度の「構内交通安全指導計画」、「駐車指導要領」について審議した。

ii) 平成30年度学内営繕要求事業

学内から要望のあった施設等に関する改善・改修要望に対し必要性・危険度・環境配慮等を考慮し、予算の範囲内で実施する事業について審議した。

iii) 平成31年度施設整備事業の概算要求

老朽化した設備の整備する基幹・環境整備、老朽改善・機能改善をする図書館の増築、改修、人文棟改修について概算要求事業として審議した。

iv) 夏季（冬季）節電計画

政府の省エネルギー・省資源対策推進会議省庁連絡会議が決定した「2018年度夏季（冬季）の省エネルギーの取組について」を踏まえ、本学における節電計画について審議した。

v) 施設有効活用調査の実施

施設有効活用規程に基づき調査対象室について審議し承認した。

ウ 重点的に取り組んだ課題や改善事項及び前年度の検討課題への取組状況等

構内交通規制要項に基づき、山屋敷地区構内における交通安全の指導を行うとともに学生に対して車両入構に関する認識調査を実施した。

また、前年度の施設の利用状況調査結果で改善の必要があるとした研究室等の再確認及び共同利用スペース、チャージスペース、退職教員使用室を対象に点検及び評価を実施した。

③ 優れた点及び今後の検討課題等

エネルギー消費削減目標の達成に向け、夏季は昨年度を超過させない目標としたが、1.7%増となった。冬季については、夏季を踏まえ、-2%の目標としたが、-5.3%と大幅な削減となった。

年間の使用量についても削減目標-1%に対し-2.8%の達成となった。

今後の課題としては、毎年1%以上の低減を掲げていることから、目標達成のため、引き続き使用量の公表等の省エネを意識するための学内の啓発活動及びエネルギー消費の少ない高効率機器の導入等の対策を進める。